

2016年度第2四半期 決算概要

2016年11月11日

三機工業株式会社

目次

決算のポイント	03
2016年度第2四半期 累計期間業績（連結）	04
セグメント別受注動向（連結）	05
セグメント別売上動向（連結）	06
セグメント別経常利益（連結）	07
四半期別業績（連結）	08
過去5年の業績推移（連結）	09
主要業種別受注動向（連結）	10
要素別受注動向	11
主な大型受注物件	12
10億円以上の大型受注物件（業種別）	13
利益改善要因と施策	14
貸借対照表（連結）	15
キャッシュ・フロー計算書（連結）	16
配当金他	17
2016年度 通期業績予想（連結）	18
2016年度 セグメント別受注・売上予想（連結）	19
長期ビジョン “Century 2025”	20
中期経営計画 “Century 2025” Phase1 「重要課題と戦略」	21
中期経営計画 “Century 2025” Phase1 「ESG方針」	22

決算のポイント

〈受注〉

産業空調は引き続き好調を維持し増加した一方、大型物件受注の一巡化等により、建築設備全体の受注高は減少。前年同期に大型案件を受注した反動で機械システムが減少し、全体でも前年同期を下回った。

〈売上・利益〉

売上高は工事進捗の遅れ等の要因により、前年同期を下回った。一方で、利益面に関しては、減収の影響により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益で減益となったものの、原価管理の徹底に加え作業効率の向上などにより、売上総利益率は引き続きの改善となった。

【全体業績】

SANKI

2016年度第2四半期 累計期間業績（連結）

- 売上高は工事進捗の遅れから次期繰越高が高水準で推移していること等により、前年同期を下回る。
 - 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回ったものの期初予想を上回り、売上総利益(率)は引き続き改善。
- （単位：百万円）

	2014年9月	2015年9月	2016年9月	前年同期対比	増減率（%）
受注高	81,248	99,206	90,912	△8,293	△8.4
次期繰越高	113,960	125,745	126,960	1,214	1.0
売上高	75,507	75,480	70,341	△5,139	△6.8
完成工事高	74,912	74,668	69,491	△5,177	△6.9
不動産事業等売上高	595	812	849	37	4.6
売上総利益	4,925	8,103	8,144	40	0.5
完成工事総利益	4,755	7,918	7,940	22	0.3
不動産事業等総利益	169	185	204	18	10.1
売上総利益率（%）	6.5	10.7	11.6	0.9 _{pt.}	—
販売費及び一般管理費	7,631	7,926	8,087	160	2.0
営業利益（△は損失）	△2,705	176	57	△119	△67.6
営業外収益	734	603	515	△88	△14.7
営業外費用	354	255	203	△52	△20.5
経常利益（△は損失）	△2,325	524	368	△155	△29.7
親会社株主に帰属する四半期純利益（△は損失）	△1,327	255	229	△25	△10.1

【受注】

セグメント別受注動向（連結）

- ・ 建築設備は産業空調が引き続き好調であった一方、大型受注案件の減少等により、全体として前年同期を下回る。
- ・ 機械システムは前年同期に大型案件を受注したことにより減少。

（単位：百万円）

セグメント	2014年9月	2015年9月	2016年9月	前年同期対比	増減率 (%)
ビル空調衛生	31,396	34,023	33,979	△44	△0.1
産業空調	21,943	25,294	27,399	2,104	8.3
電気	11,807	12,699	8,337	△4,362	△34.4
ファシリティシステム	4,803	6,623	5,274	△1,349	△20.4
建築設備計	69,950	78,642	74,990	△3,651	△4.6
機械システム	2,888	6,981	3,287	△3,694	△52.9
環境システム	7,971	13,133	12,451	△682	△5.2
プラント設備計	10,859	20,115	15,738	△4,376	△21.8
設備工事計	80,810	98,757	90,729	△8,027	△8.1
不動産	550	766	787	21	2.7
その他	228	272	259	△13	△4.9
調整額	△340	△590	△864	△273	—
合計	81,248	99,206	90,912	△8,293	△8.4

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【売上】

セグメント別売上動向（連結）

- ・ビル空調衛生は、工事進捗の遅れから次期繰越高が約64,600百万円にのぼっており、今期は減収。
- ・機械システムは前年度の大型案件受注の影響により増収。

（単位：百万円）

セグメント	2014年9月	2015年9月	2016年9月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	31,051	28,255	24,001	△4,254	△15.1
産業空調	21,272	22,230	22,082	△147	△0.7
電気	8,480	10,010	9,065	△945	△9.4
ファシリティシステム	3,945	4,884	4,587	△297	△6.1
建築設備計	64,749	65,381	59,736	△5,644	△8.6
機械システム	4,864	3,307	4,384	1,076	32.5
環境システム	5,401	6,134	5,782	△351	△5.7
プラント設備計	10,265	9,441	10,166	725	7.7
設備工事計	75,014	74,823	69,903	△4,919	△6.6
不動産	550	766	787	21	2.7
その他	242	259	254	△4	△1.9
調整額	△300	△368	△604	△235	—
合計	75,507	75,480	70,341	△5,139	△6.8

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

【利益】

セグメント別経常利益（連結）

（単位：百万円）

セグメント		2014年 9月	2015年 9月	2016年 9月	前年同期 対比	増減率 (%)
セグメント利益又は損失（△）	建築設備	△2,011	866	△15	△881	—
	機械システム	△54	△251	119	370	—
	環境システム	△931	△941	△755	186	—
	設備工事計	△2,996	△325	△651	△325	—
	不動産	111	114	103	△11	△9.7
	その他	22	17	20	2	16.2
	調整額	537	718	895	177	24.7
	合計	△2,325	524	368	△155	△29.7

*セグメント利益又は損失（△）の調整額は各セグメントに配分していない全社損益等。

【全体業績】 四半期別業績（連結）

SANKI

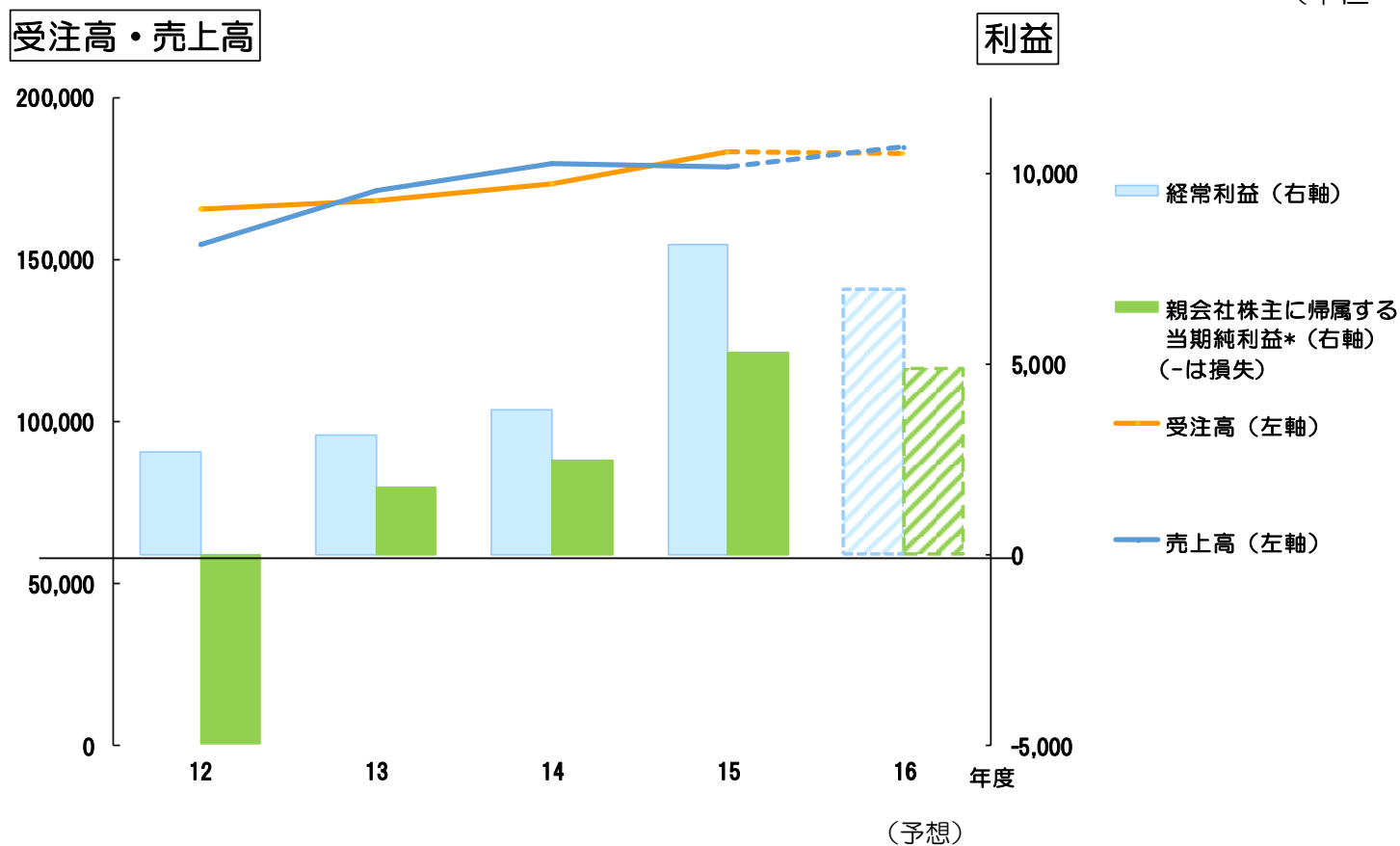
（単位：百万円）

	2014年度				2015年度				2016年度	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2
受注高	42,489	38,758	55,923	36,226	46,385	52,820	48,311	35,753	55,338	35,573
売上高	32,825	42,682	47,145	56,945	34,495	40,985	47,022	56,397	33,866	36,474
売上総利益	1,700	3,224	4,753	8,287	3,291	4,812	6,043	8,783	3,905	4,238
売上総利益率（%）	5.2	7.6	10.1	14.6	9.5	11.7	12.9	15.6	11.5	11.6
販売費及び一般管理費	3,786	3,845	3,552	3,831	3,921	4,005	3,783	4,709	4,171	3,915
営業利益（△は損失）	△2,085	△620	1,201	4,456	△630	807	2,259	4,073	△265	323
営業利益率（%）	△6.4	△1.5	2.5	7.8	△1.8	2.0	4.8	7.2	△0.8	0.9
経常利益（△は損失）	△1,846	△478	1,612	4,522	△254	778	2,554	5,055	27	341
特別損益（△は損失）	—	△18	△116	△312	△55	30	96	△371	—	△32
親会社株主に帰属する 当期純利益（△は損失）	△1,215	△111	1,119	2,669	△266	521	1,790	3,282	△2	232

【業績推移】 過去5年の業績推移（連結）

SANKI

（単位：百万円）

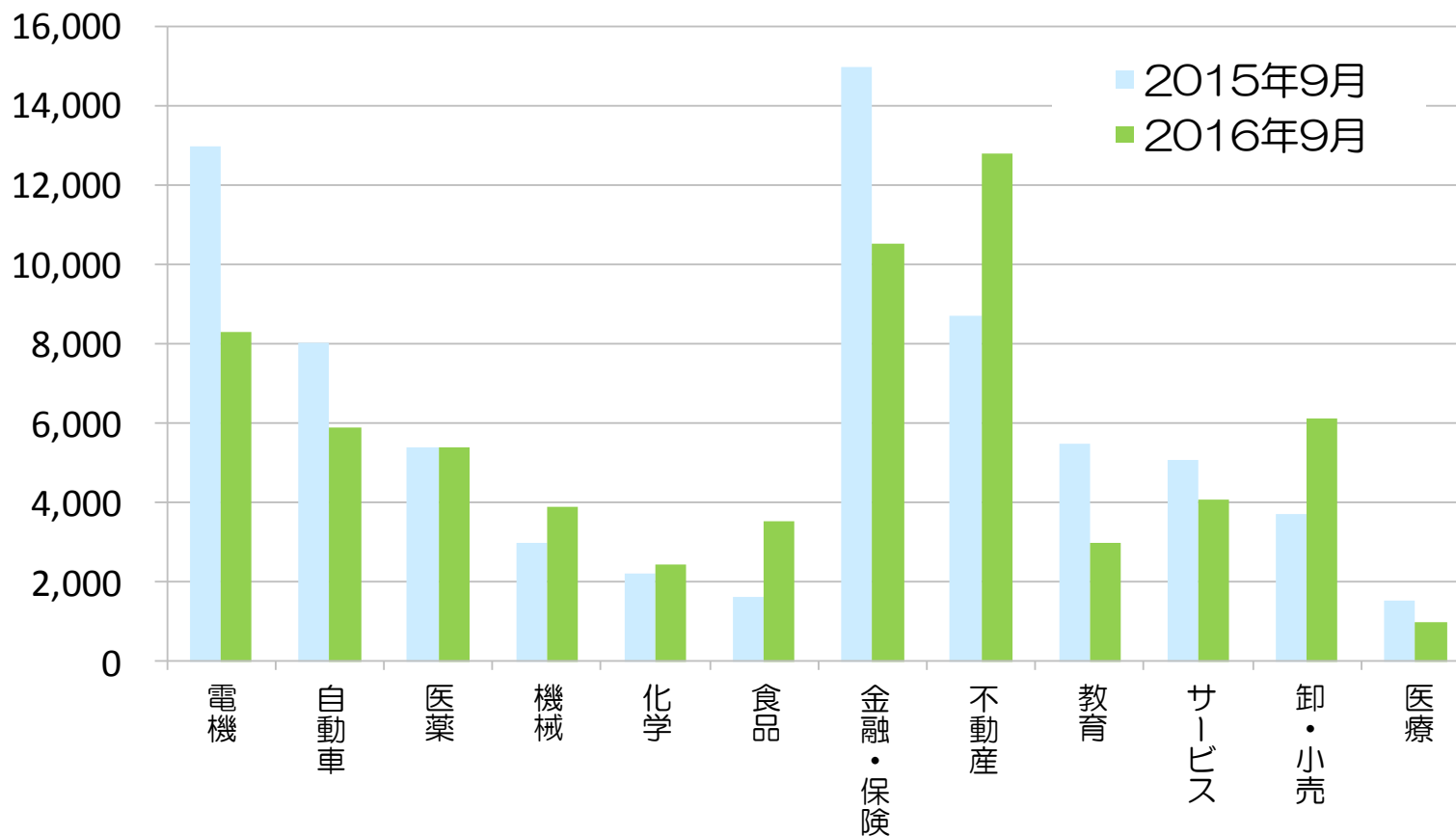


【受注】

SANKI

主要業種別受注動向（連結）

（単位：百万円）



【受注】 要素別受注動向

SANKI

(単位：百万円)

	2013年度 通期	2014年度 通期	2015年度 通期	2015年 9月 A	2016年 9月 B	前年同期 対比 B-A
受注高（個別：建築設備）	137,027	143,708	145,069	75,310	71,860	△3,449
間接受注高（個別：建築設備）	73,608	68,963	72,751	39,597	28,045	△11,551
間接受注工事高比率（個別：建築設備）（%）	53.7	48.0	50.1	52.6	39.0	△13.6 pt.
受注高（連結）	168,295	173,398	183,270	99,206	90,912	△8,293
海外工事受注高（連結）*	3,055	2,931	2,343	1,280	803	△476
海外工事受注高比率（連結）（%）	1.8	1.7	1.3	1.3	0.9	△0.4 pt.
リニューアル工事受注高（連結）	88,473	93,339	99,920	54,202	46,047	△8,155
リニューアル工事受注高比率（連結）（%）	52.6	53.8	54.5	54.6	50.7	△3.9 pt.
<参考>リニューアル工事売上高（連結）	98,024	96,468	96,325	37,372	39,106	1,734

*非連結子会社の三机建筑工程（上海）有限公司は、海外工事受注高に含まない。

【受注】 主な大型受注物件

- 横浜銀行本店
（空調設備工事）〈改修〉
- NKCながいグリーンパワー発電施設
（空調設備工事）〈新築〉
- 武田薬品工業 光工場
（空調設備工事）〈新築〉
- 大和市北部浄化センター
（下水処理設備）〈維持管理〉

他3件

【受注】

SANKI

10億円以上の大型受注物件（業種別）

	2014年9月		2015年9月		2016年9月	
事務所	—	5件 (6,439 百万円) *うち直接受注 1件 間接受注 4件	2件	11件 (19,091 百万円) *うち直接受注 3件 間接受注 8件	3件	7件 (17,782 百万円) *うち直接受注 5件 間接受注 2件
病院	2件		1件		—	
研究所	1件		1件		—	
工場	1件		3件		2件	
廃棄物処理場	—		3件		—	
発電所・変電所	—		—		1件	
上・下水処理場	1件		—		1件	
校舎・講堂	—		1件		—	

【利益】

利益改善要因と施策

- 外部環境の改善
- 原価管理の徹底
- 現場サポート体制の整備
 - ・調達本部による購買業務支援
 - ・サイト業務支援センターによる現場業務支援
 - ・設計支援センター（2016年度4月新設）による設計業務支援
 - ・技術エキスパートによる品質監査
- 協力会社との関係強化
 - ・全国協力会連絡会の実施
 - ・三機スーパーマイスター制度の実施
 - ・三機ベストパートナー選定制度の実施

【財務状況】 貸借対照表（連結）

SANKI

（単位：百万円）

	2015年度末	2016年9月	前年度末対比	増減率（%）	2015年9月
流動資産	115,491	95,581	△19,910	△17.2	93,720
固定資産	53,931	49,851	△4,079	△7.6	56,405
流動負債	72,863	53,359	△19,504	△26.8	54,146
固定負債	12,001	11,148	△853	△7.1	13,841
純資産額	84,557	80,925	△3,631	△4.3	82,137
総資産額	169,423	145,433	△23,989	△14.2	150,126
1株当たり純資産額（円）	1,328.60	1,271.10	△57.50	△4.3	1,290.56
自己資本比率（%）	49.8	55.6	5.8 pt.	—	54.6
有利子負債（連結）	5,992	5,824	△167	△2.8	6,164

キャッシュ・フロー計算書（連結）

- 現金及び現金同等物の残高は、対前年度末および対前年同期末でともに増加
- 営業キャッシュ・フローの増加は、主に売上債権の回収が進んだことによる
- 投資キャッシュ・フローの減少は、主に投資有価証券の取得による
- 財務キャッシュ・フローの減少は、主に配当金の支払いによる

（単位：百万円）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年 9月	2016年 9月
営業キャッシュ・フロー	9,729	△9,403	△139	5,220	△1,330	3,502
投資キャッシュ・フロー	△9,481	△3,506	3,440	5,520	5,599	△397
財務キャッシュ・フロー	△1,028	△4,152	△2,901	△1,826	△1,010	△1,573
期末現金及び現金同等物	40,367	23,510	23,667	32,501	26,877	33,933

設備投資	645	545	395	855	218	126
減価償却費	1,207	740	723	723	343	338

【株主還元】 配当金他

SANKI

・2016年度の中間配当を10円とする（2015年度の中間配当は9円）。

（単位：百万円）

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年 9月
1株当たり当期純利益（円）	△71.04	26.46	38.30	83.84	3.61
1株当たり配当金 普通配当（円）	15	15	15	18	10
1株当たり配当金 記念配当（円）	—	—	5	—	—
1株当たり配当金 特別配当（円）	—	—	—	12	—
1株当たり配当金 計（円）	15	15	20	30	10
配当性向（％）	—	56.7	52.2	35.8	
期末株主数（名）	4,169	3,598	3,375	3,397	3,390
期末株価（円）	492	654	930	901	897
自己株式取得（千株）	1,988	4,000	2,000	—	—
自己株式消却（千株）	—	4,800	3,000	—	—

＜参考＞

ROE（自己資本当期純利益率）（％）	△6.4	2.3	3.0	6.3	
ROA（総資産経常利益率）（％）	1.6	1.9	2.2	4.7	

【業績予想】

2016年度 通期業績予想（連結）

・2016年5月13日の期初予想数値から変更しておりません。

（単位：百万円）

	2016年度予想 （11月11日期中予想）
	通期 （予想）
受注高	183,000
売上高	185,000
営業利益（△は損失）	6,500
経常利益（△は損失）	7,000
親会社株主に帰属する 当期純利益（△は損失）	4,900

【受注予想・売上予想】

SANKI

2016年度 セグメント別受注・売上予想（連結）

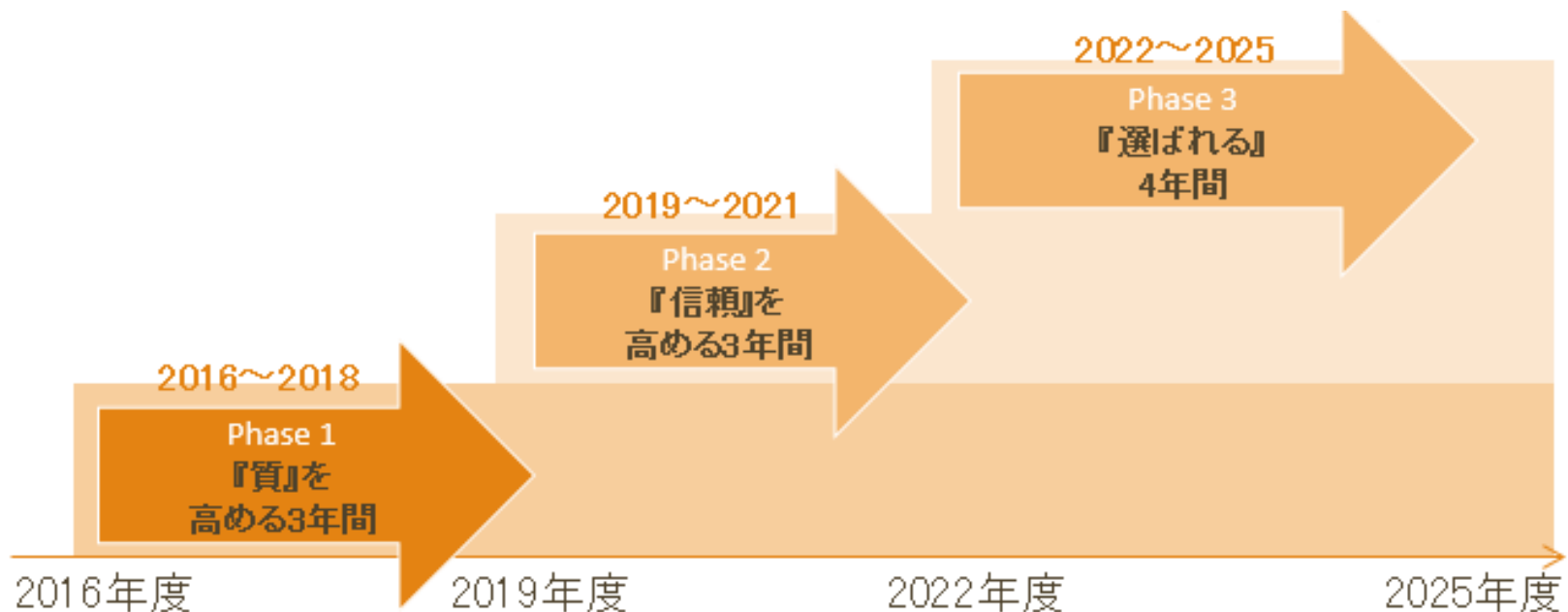
（単位：百万円）

セグメント	2016年度 受注高予想 （11月11日期中予想）	2016年度 売上高予想 （11月11日期中予想）
ビル空調衛生	64,900	70,900
産業空調	52,000	52,000
電気	19,000	22,000
ファシリティシステム	10,000	10,000
建築設備計	145,900	154,900
機械システム	9,500	9,500
環境システム	26,000	19,000
プラント設備計	35,500	28,500
設備工事計	181,400	183,400
不動産	1,600	1,600
その他	500	500
調整額	△500	△500
合計	183,000	185,000

*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

長期ビジョン“Century 2025”

10年間で「質」と「信頼」をさらに高め
お客さまから もっと「選ばれる会社」を目指します



- Phase1⇒変化に対応できる土台として 技術と英知を磨き 人を育て 「質」を高めます
- Phase2⇒高い「質」がお客さまの満足を生み 満足・安心から「信頼」へと前進します
- Phase3⇒高めた「信頼」で より多くのお客さまから「選ばれる」会社に進化します

中期経営計画“Century 2025” Phase1

重要課題と戦略

1. 技術力の継承

三機大和ビル（神奈川県大和市）を一部改装し、三機工業グループの根幹である「技術力」を次世代に継承・発展させるべく、総合研修施設「（仮称）三機テクノセンター」としてリニューアルします。

2. ストック時代への備え

「SANKI VITAL PLAN 90th」で打ち出したLCE事業をさらに推進し、将来、建設市場が減少した場合でも安定した経営が継続できる事業基盤を固めていきます。

3. 次世代技術開発

ロボット、IoT、人工知能等の新技術の発展を確実にキャッチアップし、次世代の技術開発を行う新たな研究開発拠点を「（仮称）三機テクノセンター」内に整備します。

中期経営計画“Century 2025” Phase1

ESG方針

従来の活動を有機的に統合し 戦略的に展開

	概 要
E（環境）	<p>地球温暖化対策の世界的な枠組み「パリ協定」合意や、これを受けたわが国の「地球温暖化対策推進法」等、地球環境保護はこれまで以上に重要となります。三機工業グループは事業内容そのものが地球環境保護に直結することをあらためて確認し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①主力の建築設備事業では、より効率的な空調・衛生・電気・情報通信等の各種設備・システムの開発・納入により、産業部門・業務部門の温室効果ガス排出量削減に貢献します ②プラント設備部門でも、より省エネルギーな機器の開発を推進します ③事業運営のあらゆる場面で地球環境負荷低減を意識し、ISO14000シリーズに基づく活動を推進します
S（社会）	<ul style="list-style-type: none"> ①温室効果ガス削減量に応じて環境保全団体に寄付を行う社会貢献活動「SANKI YOU エコ貢献ポイント」を継続し、植樹活動を応援します ②長時間労働対策や女性・高齢者の活躍の場の拡大など、より働きやすい職場環境を目指します
G（企業統治）	<ul style="list-style-type: none"> ①2015年12月に制定した「三機工業コーポレートガバナンス・ガイドライン」を軸に、2016年度から取り組みを本格的にスタートさせます ②取締役会を中心に、実効性を重視した内部統制システム・リスクマネジメントシステムの運用・改善を進めます ③「三機工業グループ コンプライアンス宣言」「三機工業グループ 行動規範・行動指針」および「三機工業グループ 行動基準」等の行動準則を遵守し、倫理的に行動する風土の維持・発展に努めます

将来の見通しに対するご留意事項

本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、11月11日時点で入手可能な情報に基づいてなされた当社の予測、想定、評価および判断によるものです。

従いまして、かかる予測等に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、当社の将来の業績、経営結果等と異なる可能性があります。

<主な要因>

- 取引先の信用リスク
- 資機材価格および労務費の急激な変動
- 株式相場の変動
- 退職給付費用および債務の増加
- カントリーリスク
- 設備工事等における事故および災害
- 不採算工事の発生
- 不動産事業におけるリスク
- 訴訟等に関するリスク
- 法的規制等によるリスク
- 自然災害の発生

本件に関する問い合わせ先
管理本部広報・IR部
TEL：03-6367-7041